

シン・ニコニコ落語録其ノ七

「艦縁落語・我、博打に突入す！」

ごあいさつ

初めましての方は初めまして、そうでない方はお久しぶりでございます。

紅亭彩虹でございます。

まずは、これを読んでいる皆さま「我、博打に突入す！」をご購入いただきまことにありがとうございました。

毎度このリバイバル落語本当に需要あるのかなと不安で不安でしゃーないので、そんな私の不安を払拭するために、これを読んだ方にはぜひ感想を送ってほしいななんて思う次第でございます。

さて、今回のネタは、元ネタが古典落語の「狸賽」でございます。

改変として艦これを選んだ理由は、当時私がドはまりしていたことと、落語の中で登場する「天神加賀様」という台詞を安易にガッちゃんこしたからでございました。

しかし、そんな安易な合体の割りには結構完成度高いんじゃないかなと思っております。

ただ、やっぱり当時の自分のセンスと今のセンスはどうしてもズレがあるものでございますから、今回は割と改変多めにしてリメイクいたしました。

特に、最後の方のやり取りに関しましては、相手役を龍驤から提督に変更し、大人数でのちょぼいち打っているとこから、一対一のちょぼいちへと変更いたしました。

一対一でちょぼいちとかなんやねんとは思いますが、そこはお目こぼし願いたいです。

また、提督が出てくるに当たりまして、どうして博打を打つのかの流れへ持っていくために、あのような時事ネタを取り入れることにいたしました。

まあこれに関しては、当の私が競馬をやり始めたことで、多少博打に対しての解像度が上がったからという事情もございます。

飲む打つ買うは芸の肥しとはよく言うたものですが、これにて私もコンプリートと相成ったわけでございます。

いやはや、博打って本当にこう…情緒によろしくないですね。タガをきっちりめておかないと際限なくつぎ込んでしまいそうで怖いです。

まあ、そんなことはさておき、ネタの方は競馬ネタを絡めるにあたり、最後の畳みかけが両ボケみたいな形になりました。

私はこういう、全員ボケ通しみたいなネタが好きではあるのですが、収録落語は如何せん客席の反応がございませんので、皆さんにウケてるかどうか、手ごたえがよくわからないのが悩みの種です。

だから皆さんもっと気軽に感想を…という欲しがりになるのも無理からぬ話と勘弁していただきたい。

私ももっと鑑賞した同人の感想呟くようにしますね。ホントに。

さて、ここからは軽い想い出話ですが、毎度ネタをやるにあたって、過去のネタ帳と当時のライナーノーツも目を通しておきます。

では、今回の場合何が書いてあったかと申しますと、やれご飯を抜いていて心配だの、虚弱体質だの、まあ不健康なことばかり書いてある。

では今の自分はどうなんだ、という話ですが、この間の健康診断で尿酸値が高くて要再検を喰らっているというのだから、まあ人と言うのは早々変わらんものだと、勝手に納得しております。

それでは、スペースもそろそろ余裕がなくなってきたので、ここらでお別れといたします。

また皆さんとどこかでお会いできるのを楽しみにしております。

2021年11月某日 紅亭彩虹

※ご注意

本作品にある全てのコンテンツは無断転載禁止です。